

日本金属学会 No. 64 触媒材料研究会

ミニシンポジウム：「ナノ組織制御触媒の新展開」

趣旨

「触媒材料」はこれまでも化学合成プロセスなどで威力を発揮してきたが、排ガス浄化やエネルギー変換など、環境・エネルギーの分野においても大きな役割を果たすようになり、材料分野における存在感も日増しに大きくなっている。“ナノ粒子/担持系” 貴金属においては様々な触媒機能が知られており、従来は触媒化学の観点から検討されてきた。しかし最近、担体を有しないポーラス体においても高い触媒活性が出現することや、ナノレベルで合金の組織制御を行うことで触媒の特性を向上できることが明らかになり、触媒作用の起源を再考する必要が生じてきた。本ミニシンポジウムは、この分野の第一線で活躍する国内の若手研究者を集め、異なるアプローチによる研究事例について金属組織制御の視点から議論を行うことで合金触媒の機能の起源に迫る。

日時：2014年2月12日（水） 13:20～17:10

場所：(独) 物質・材料研究機構 千現研究本館 第2会議室

http://www.nims.go.jp/nims/office/tsukuba_sengen.html

講演会参加費：無料（懇親会参加費：3,000円）

(登壇者敬称略)

13:20～13:30 世話人挨拶 物質・材料研究機構 西村 睦

13:30～14:20 「担持金属間化合物触媒の高性能化」
東工大 大学院理工学研究科 古川森也

14:20～15:10 「ソリューションプラズマによる触媒ナノ材料の合成」
名大 マテリアル理工学 上野智永

15:10～15:30 コーヒー ブレーク

15:30～16:20 「白金基合金モデル触媒のドライプロセス合成と燃料電池電極触媒特性」
東北大 環境研究科 轟 直人

16:20～17:10 「熱プラズマ法で作製したNi-Al ナノ粒子の触媒特性」
物質・材料研究機構 許 亜

17:30 懇親会

参加申込みお問合せはE-mailで
物質・材料研究機構 西村睦または廣瀬まで
Tel: 029-859-2652
E-mail: NISHIMURA.Chikashi@nims.go.jp
HIROSE.Kayoko@nims.go.jp